

ダイワ世界インカム・ハンター (年2回決算型)

為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	約4年1カ月間 (2016年2月1日～2020年2月18日)	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド (円ヘッジ・クラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド (ヘッジなし・クラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

運用報告書 (全体版)

第6期

(決算日 2019年2月18日)

(作成対象期間 2018年8月21日～2019年2月18日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界各国の高配当株式や債券など、さまざまな資産に投資を行ない、機動的に配分比率を調整することで、安定した利回りを追求するとともに、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当完成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5675>
<5676>

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率			
	円	円	%	%	%	百万円
2 期末 (2017年 2 月20日)	10,711	0	0.6	0.0	98.4	161
3 期末 (2017年 8 月18日)	10,885	10	1.7	—	98.2	236
4 期末 (2018年 2 月19日)	10,862	10	△ 0.1	—	99.3	198
5 期末 (2018年 8 月20日)	10,803	0	△ 0.5	—	97.3	167
6 期末 (2019年 2 月18日)	10,666	0	△ 1.3	—	98.6	164

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

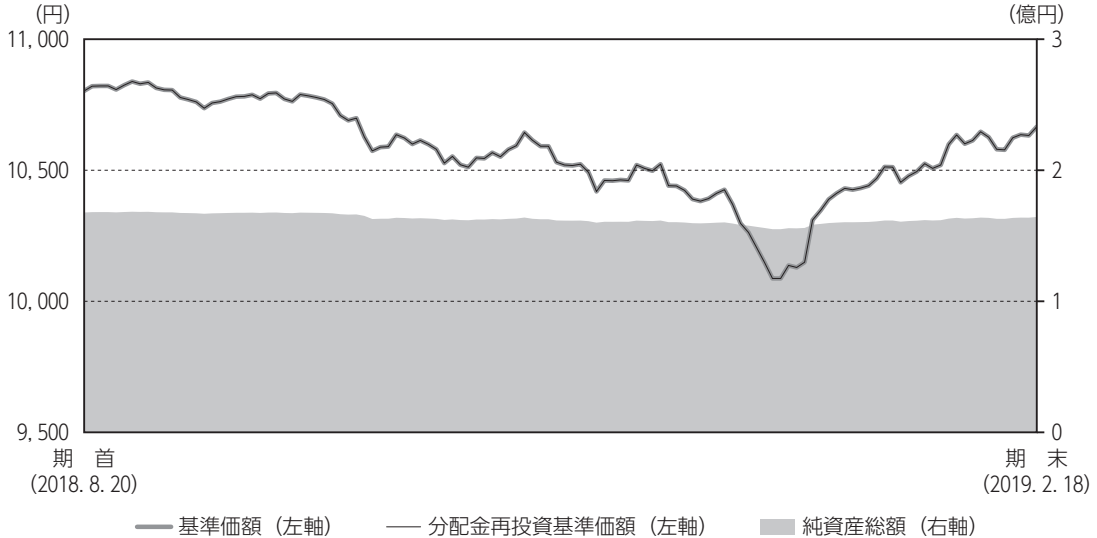
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,803円

期末：10,666円（分配金0円）

騰落率：△1.3%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）（以下、「インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）」といいます。）で保有しているハイ・イールド債券や不動産担保証券の上昇などはプラス要因となりましたが、先進国株式の下落や為替ヘッジコストが発生したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジあり

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率 組 入 比
	円	騰 落 率 %		
(期首)2018年 8月20日	10,803	—	—	97.3
8月末	10,814	0.1	—	97.3
9月末	10,789	△ 0.1	—	97.4
10月末	10,547	△ 2.4	—	98.3
11月末	10,507	△ 2.7	—	98.7
12月末	10,129	△ 6.2	—	98.7
2019年 1月末	10,599	△ 1.9	—	98.7
(期末)2019年 2月18日	10,666	△ 1.3	—	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 8. 21 ~ 2019. 2. 18)

海外金融市況

海外金融市場では、株式市場および債券市場ともにおおむねレンジでの推移となりました。

株式市場では、当作成期首より2018年10月上旬にかけておおむね横ばいで推移した後、米中貿易摩擦懸念の再燃や景気減速観測の台頭などから、2018年末にかけて下落基調で推移しました。その後は、FOMC（米国連邦公開市場委員会）における米国の利上げ休止観測や米中通商協議の進展への期待が高まったことなどを好感し、当作成期末にかけて上昇基調で推移しました。

債券市場では、当作成期首より、堅調な経済指標が発表されたことや、FOMC議事録で中立金利を上回る利上げの必要性が言及されたことなどを受けて、市場で金融引き締め継続が意識されたことなどから、2018年11月初旬まで軟調に推移しましたが、世界的な株安や景気減速観測の台頭などから、年末にかけて堅調に推移しました。その後は、米中通商協議の進展への期待が高まったことなどから、当作成期末にかけておおむね横ばいで推移しました。

非伝統的高利回り資産（※）では、不動産担保証券が相対的に良好なパフォーマンスでした。

※リート、優先証券、不動産担保証券など。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、証券化商品などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。引き続きリスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインを求めた運用を行います。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

また、原資産通貨売り／円買いの為替取引を行います。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

(2018. 8. 21 ~ 2019. 2. 18)

■当ファンド

当ファンドは、インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界各国のさまざまな資産への投資を行い、機動的に各資産への配分を調整することで、安定した利回りと信託財産の着実な成長をめざしてポートフォリオを構築しました。

株式については、2018年10月以降の株式市場の調整局面において米国株式を買い増しました。欧州よりも米国の経済成長見通しが明るいと判断して、米国株式を選好しました。なお、株式部分については、比較的风险を抑えた運用を行いました。

債券については、クレジット商品の幅広い資産クラスおよびセクターに分散投資を意識した運用を行いました。投資妙味があると判断した満期の短い債券の組入比率を引き上げました。ハイ・イールド債券については、スプレッドが拡大した局面でファンダメンタルズが良好と判断したことなどから買い増しました。

利回りの獲得や分散投資の観点から魅力的な資産と考えている非伝統的高利回り資産では、不動産担保証券および優先証券などに投資しました。

また、原資産通貨売り／円買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を行いませんでした。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年8月21日 ～2019年2月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	1,215

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、優先証券やハイ・イールド債券などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。引き続きリスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインを求めた運用を行います。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

また、原資産通貨売り／円買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 8. 21～2019. 2. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	64円	0.606%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,569円です。
（投 信 会 社）	(20)	(0.188)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(43)	(0.404)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	64	0.610	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジあり

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2018年8月21日から2019年2月18日まで）

	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国 （邦貨建）	15,29309	1,345	—	—

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

当作成期における主要な売買銘柄はありません。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND JPY HEDGED CLASS	1,826,9308	162,103	98.6

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド	40	40	40

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年2月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	162,103	98.1
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド	40	0.0
コール・ローン等、その他	3,173	1.9
投資信託財産総額	165,317	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年2月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	165,317,855円
コール・ローン等	3,173,410
投資信託受益証券（評価額）	162,103,569
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド（評価額）	40,876
(B) 負債	992,771
未払信託報酬	986,273
その他未払費用	6,498
(C) 純資産総額（A－B）	164,325,084
元本	154,061,128
次期繰越損益金	10,263,956
(D) 受益権総口数	154,061,128口
1万口当り基準価額（C/D）	10,666円

* 期首における元本額は155,297,444円、当作成期間中における追加設定元本額は820,777円、同解約元本額は2,057,093円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,666円です。

■損益の状況

当期 自 2018年8月21日 至 2019年2月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,342,399円
受取配当金	1,343,209
支払利息	△ 810
(B) 有価証券売買損益	△ 2,438,179
売買益	37,474
売買損	△ 2,475,653
(C) 信託報酬等	△ 993,601
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	△ 2,089,381
(E) 前期繰越損益金	3,388,124
(F) 追加信託差損益金	8,965,213
(配当等相当額)	(10,326,364)
(売買損益相当額)	(△ 1,361,151)
(G) 合計 (D + E + F)	10,263,956
次期繰越損益金 (G)	10,263,956
追加信託差損益金	8,965,213
(配当等相当額)	(10,326,364)
(売買損益相当額)	(△ 1,361,151)
分配準備積立金	8,403,524
繰越損益金	△ 7,104,781

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	348,797円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	10,326,364
(d) 分配準備積立金	8,054,727
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	18,729,888
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	18,729,888
(h) 受益権総口数	154,061,128口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率			
	円	円	%	%	%	百万円
2 期末 (2017年 2 月20日)	10,374	10	13.4	0.0	93.2	202
3 期末 (2017年 8 月18日)	10,380	10	0.2	—	99.0	111
4 期末 (2018年 2 月19日)	10,131	10	△ 2.3	—	98.9	108
5 期末 (2018年 8 月20日)	10,617	10	4.9	—	99.4	47
6 期末 (2019年 2 月18日)	10,644	0	0.3	—	99.6	47

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

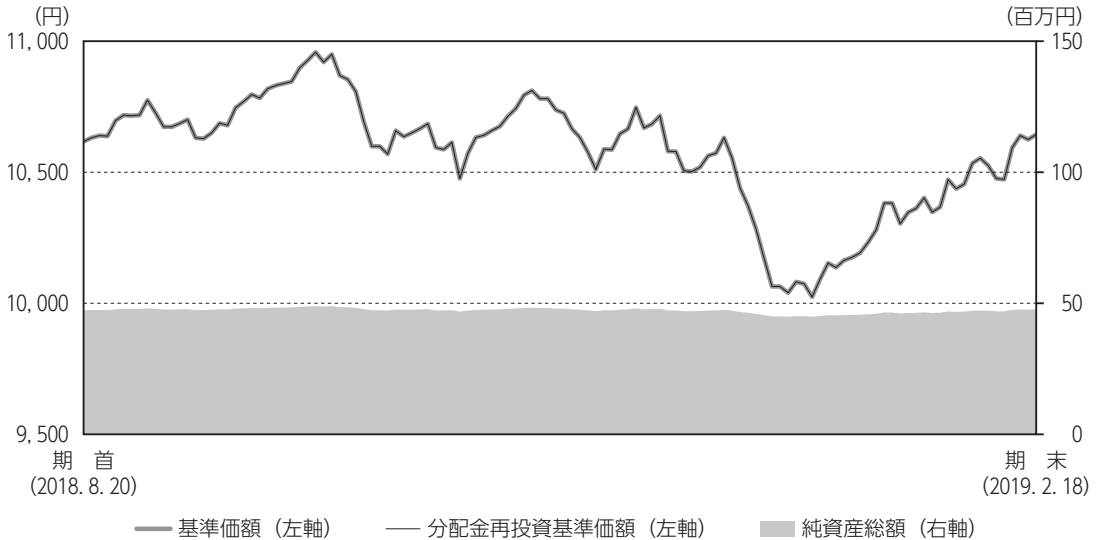
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：10,617円

期末：10,644円（分配金0円）

騰落率：0.3%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）（以下、「インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）」といいます。）で保有している先進国株式の下落などはマイナス要因となりましたが、ハイ・イールド債券や不動産担保証券の上昇などがプラス要因となり、基準価額はほぼ横ばいとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジなし

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %		
(期首)2018年 8月20日	10,617	—	—	99.4
8月末	10,726	1.0	—	99.4
9月末	10,898	2.6	—	99.5
10月末	10,633	0.2	—	99.5
11月末	10,669	0.5	—	99.5
12月末	10,082	△ 5.0	—	99.5
2019年 1月末	10,472	△ 1.4	—	99.6
(期末)2019年 2月18日	10,644	0.3	—	99.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 8. 21 ~ 2019. 2. 18)

海外金融市況

海外金融市場では、株式市場および債券市場ともにおおむねレンジでの推移となりました。

株式市場では、当作成期首より2018年10月上旬にかけておおむね横ばいで推移した後、米中貿易摩擦懸念の再燃や景気減速観測の台頭などから、2018年末にかけて下落基調で推移しました。その後は、FOMC（米国連邦公開市場委員会）における米国の利上げ休止観測や米中通商協議の進展への期待が高まったことなどを好感し、当作成期末にかけて上昇基調で推移しました。

債券市場では、当作成期首より、堅調な経済指標が発表されたことや、FOMC議事録で中立金利を上回る利上げの必要性が言及されたことなどを受けて、市場で金融引き締め継続が意識されたことなどから、2018年11月初旬まで軟調に推移しましたが、世界的な株安や景気減速観測の台頭などから、年末にかけて堅調に推移しました。その後は、米中通商協議の進展への期待が高まったことなどから、当作成期末にかけておおむね横ばいで推移しました。

非伝統的高利回り資産（※）では、不動産担保証券が相対的に良好なパフォーマンスでした。

※リート、優先証券、不動産担保証券など。

為替相場

米ドルは対円でおおむね横ばいとなりました。

為替相場では、景気減速観測の台頭や一部の米国政府機関が閉鎖したことなどから米ドルは対円で軟調に推移する局面もありましたが、景気減速に対する過度の懸念が後退する中で水準を戻し、当作成期首と比べるとおおむね横ばいとなりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、証券化商品などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。引き続きリスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、

キャピタルゲインを求めた運用を行います。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

ポートフォリオについて

(2018. 8. 21 ~ 2019. 2. 18)

■当ファンド

当ファンドは、インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界各国のさまざまな資産への投資を行い、機動的に各資産への配分を調整することで、安定した利回りと信託財産の着実な成長をめざしてポートフォリオを構築しました。

株式については、2018年10月以降の株式市場の調整局面において米国株式を買い増しました。欧州よりも米国の経済成長見通しが明るいと判断して、米国株式を選好しました。なお、株式部分については、比較的风险を抑えた運用を行いました。

債券については、クレジット商品の幅広い資産クラスおよびセクターに分散投資を意識した運用を行いました。投資妙味があると判断した満期の短い債券の組入比率を引き上げました。ハイ・イールド債券については、スプレッドが拡大した局面でファンダメンタルズが良好と判断したことなどから買い増しました。

利回りの獲得や分散投資の観点から魅力的な資産と考えている非伝統的高利回り資産では、不動産担保証券および優先証券などに投資しました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を行いませんでした。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年8月21日 ～2019年2月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	1,518

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、優先証券やハイ・イールド債券などの高利回り資産を引き続き選好する方針です。引き続きリスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインを求めた運用を行います。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 8. 21～2019. 2. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	64円	0.606%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,573円です。
(投 信 会 社)	(20)	(0.188)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(43)	(0.404)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	64	0.610	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジなし

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2018年8月21日から2019年2月18日まで）

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 （邦貨建）	11.33102	951	—	—

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

当作成期における主要な売買銘柄はありません。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND NON- HEDGED CLASS	563.32246	47,472	99.6

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド	100	100	100

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年2月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	47,472	99.0
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド	100	0.2
コール・ローン等、その他	372	0.8
投資信託財産総額	47,945	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年2月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	47,945,974円
コール・ローン等	372,333
投資信託受益証券（評価額）	47,472,873
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド（評価額）	100,768
(B) 負債	287,468
未払信託報酬	285,655
その他未払費用	1,813
(C) 純資産総額（A－B）	47,658,506
元本	44,776,987
次期繰越損益金	2,881,519
(D) 受益権総口数	44,776,987口
1万口当り基準価額（C/D）	10,644円

* 期首における元本額は44,584,038円、当作成期間中における追加設定元本額は212,404円、同解約元本額は19,455円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,644円です。

■損益の状況

当期 自 2018年8月21日 至 2019年2月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	951,597円
受取配当金	951,597
(B) 有価証券売買損益	△ 542,765
売買益	691
売買損	△ 543,456
(C) 信託報酬等	△ 287,540
(D) 当期損益金 (A + B + C)	121,292
(E) 前期繰越損益金	3,325,920
(F) 追加信託差損益金	△ 565,693
（配当等相当額）	（ 1,269,660）
（売買損益相当額）	（△ 1,835,353）
(G) 合計 (D + E + F)	2,881,519
次期繰越損益金 (G)	2,881,519
追加信託差損益金	△ 565,693
（配当等相当額）	（ 1,269,660）
（売買損益相当額）	（△ 1,835,353）
分配準備積立金	5,531,877
繰越損益金	△ 2,084,665

（注1） 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

（注2） 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3） 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	664,044円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,269,660
(d) 分配準備積立金	4,867,833
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	6,801,537
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	6,801,537
(h) 受益権総口数	44,776,987口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド
（円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス）

当ファンド（ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2019年2月18日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表
2018年7月31日

資産		
投資資産の評価額（簿価 \$11,822,711）	\$	12,435,826
利害関係人への投資（簿価 \$21,213,661）		20,943,081
現金		712
外国為替先渡契約による評価益		202,277
先物取引に係る未収変動証拠金		81,834
未収：		
利息		23,062
利害関係人からの配当		722
資産合計		<u>33,687,514</u>
負債		
預り金		270,000
外国為替先渡契約による評価損		90,990
未払：		
運用会社報酬		362,824
専門家報酬		67,898
購入済み利害関係人への投資		20,912
保管会社報酬		7,439
受託会社報酬		6,293
会計および管理会社報酬		6,045
名義書換代理人報酬		1,723
為替取引執行会社報酬		1,143
為替運用会社報酬		1,009
登録料		665
購入済みの投資		52
負債合計		<u>836,993</u>
純資産	\$	<u>32,850,521</u>
純資産		
ブラジル・リアル・クラス	\$	8,683,196
通貨セレクト・クラス		4,812,421
円ヘッジ・クラス		6,746,833
ヘッジなし・クラス		12,608,071
	\$	<u>32,850,521</u>

発行済み受益証券口数

ブラジル・リアル・クラス	15,341,856
通貨セレクト・クラス	9,033,522
円ヘッジ・クラス	8,365,572
ヘッジなし・クラス	16,293,299

受益証券1口当り純資産額

ブラジル・リアル・クラス	\$	0.566
通貨セレクト・クラス	\$	0.533
円ヘッジ・クラス	\$	0.806
ヘッジなし・クラス	\$	0.774

損益計算書

2018年7月31日に終了した年度

投資収益

受取利息	\$	485,339
配当収益（源泉徴収税 \$15,126控除後）		344,959
利害関係人への投資からの受取配当金（源泉徴収税 \$335,729控除後）		847,663
その他収益		12,554
投資収益合計		<u>1,690,515</u>

費用

運用会社報酬	275,936
専門家報酬	68,158
保管会社報酬	57,135
会計および管理会社報酬	43,381
受託会社報酬	26,615
為替運用会社報酬	14,567
名義書換代理人報酬	10,214
為替取引執行会社報酬	7,564
登録料	2,745
支払利息	1,386
費用合計	<u>507,701</u>

投資純利益

1,182,814

実現益（損）および評価益（損）：

実現益（損）：

証券投資	348,985
利害関係人への投資	386,580
先物取引	(10,157)
外国為替取引および外国為替先渡契約	(1,125,819)
純実現損	<u>(400,411)</u>

評価益（損）の純変動：

証券投資	157,759
利害関係人への投資	(1,261,134)
先物取引	155,123
外国為替換算および外国為替先渡契約	(1,132,718)
評価益（損）の純変動	<u>(2,080,970)</u>

純実現損および評価益（損）の純変動

(2,481,381)

運用による純資産の純減

\$ (1,298,567)

投資明細表
2018年7月31日現在

	元本	有価証券の明細	純資産に 占める割合	評価額
		債券 (31.6%)		
		オランダ (0.8%)		
		電力 (0.4%)		
		Gas Natural Fenosa Finance BV ^{(a), (b), (c)}		
EUR	100,000	4.13% due 2049/11/29	\$	123,733
		メディア (0.4%)		
		Ziggo Bond BV ^(a)		
EUR	100,000	7.13% due 2024/5/15		125,195
		オランダ合計 (簿価 \$236,227)		<u>248,928</u>
		米国 (30.8%)		
		商業用不動産担保証券 (9.4%)		
		COMM 2015-CCRE23 Mortgage Trust Class CME ^{(b), (d)}		
USD	1,000,000	3.68% due 2048/5/10		986,081
		Core Industrial Trust 2015-CALW Class G ^{(b), (d)}		
USD	140,000	3.85% due 2034/2/10		132,586
		Core Industrial Trust 2015-TEXW Class E ^{(b), (d)}		
USD	1,000,000	3.85% due 2034/2/10		986,519
		GAHR Commercial Mortgage Trust 2015-NRF Class EFX ^{(b), (d)}		
USD	1,000,000	3.38% due 2034/12/15		989,128
		商業サービス (0.0%)		
		ADT Corp.		
USD	10,000	3.50% due 2022/7/15		9,500
		住宅資産 ABS (8.4%)		
		Bear Stearns Asset Backed Securities I Trust 2007-HE1 Class 21A2 ^{(a), (b)}		
USD	966,247	2.22% due 2037/1/25		946,012
		Bear Stearns Asset Backed Securities I Trust 2007-HE2 Class 22A ^{(a), (b)}		
USD	932,111	2.20% due 2037/3/25		898,798
		Bear Stearns Asset Backed Securities I Trust 2007-HE3 Class 2A ^{(a), (b)}		
USD	850,238	2.20% due 2037/4/25		898,788
		組立住宅 ABS (3.3%)		
		Conseco Finance Securitizations Corp. Class M1 ^{(a), (b)}		
USD	1,100,000	3.84% due 2033/9/1		1,080,942
		その他 ABS (1.8%)		
		Bear Stearns Asset Backed Securities I Trust 2007-FS1 Class 1A3 ^{(a), (b)}		
USD	584,723	2.23% due 2035/5/25		604,485
		パイプライン (0.0%)		

	元本	有価証券の明細	純資産に 占める割合	評価額
U S D	14,000	Andeavor Logistics LP / Tesoro Logistics Finance Corp. ^(a) 6.25% due 2022/10/15		14,473
		モーゲージ債権担保ホールローン (7.9%)		
U S D	328,915	Alternative Loan Trust 2005-IM1 Class A1 ^{(a), (b)} 2.66% due 2036/1/25		313,217
U S D	769,820	Alternative Loan Trust 2006-OA3 Class 2A1 ^{(a), (b)} 2.27% due 2036/5/25		660,565
U S D	980,556	Alternative Loan Trust 2007-AL1 Class A1 ^{(a), (b)} 2.31% due 2037/6/25		745,703
U S D	294,886	MASTR Resecuritization Trust 2008-3 Class A1 ^{(b), (d)} 2.53% due 2037/8/25		222,026
U S D	687,268	Structured Asset Mortgage Investments II Trust 2005-AR3 Class 1A1 ^{(a), (b)} 2.60% due 2035/8/25		657,713
		米国合計 (簿価 \$9,436,502)		10,146,536
		債券合計 (簿価 \$9,672,729)		10,395,464
		証券数 上場投資信託 (ETF) (60.7%)		
		米国 (60.7%)		
	60,095	Alerian MLP ETF		657,439
	9,763	iShares 10+ Year Credit Bond ETF ^(e)		575,138
	24,326	iShares Core High Dividend ETF ^(e)		2,148,716
	34,293	iShares Currency Hedged MSCI Eurozone ETF ^(e)		1,043,879
	44,379	iShares iBoxx \$ High Yield Corporate Bond ETF ^(e)		3,821,919
	25,225	iShares iBoxx \$ Investment Grade Corporate Bond ETF ^(e)		2,920,046
	17,114	iShares International Developed Real Estate ETF ^(e)		505,890
	53,111	iShares International Select Dividend ETF ^(e)		1,770,190
	6,674	iShares U.S. Real Estate ETF ^(e)		542,262
	158,012	iShares U.S. Preferred Stock ETF ^(e)		5,939,671
		米国合計		19,925,150
		上場投資信託 (ETF) 合計 (簿価 \$20,315,254)		19,925,150
		投資信託 (5.1%)		
		ルクセンブルク (5.1%)		
	24,912	BlackRock Global Fund - Emerging Markets Equity Income Fund Class X6 ^(e)		285,745
	136,640	BlackRock Global Funds - Asian Tiger Bond Fund Class X3 ^(e)		1,389,625
		ルクセンブルク合計		1,675,370
		投資信託合計 (簿価 \$1,665,466)		1,675,370
		元本 短期投資 (4.2%)		
		グランド・ケイマン (0.0%)		
		定期預金 (0.0%)		

ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）

	元本	有価証券の明細	純資産に 占める割合	評価額
		Brown Brothers Harriman & Co.		
E U R	424	-0.57% due 2018/8/1		496
J P Y	108,951	-0.21% due 2018/8/1		973
N O K	1	0.20% due 2018/8/1		0
G B P	7	0.25% due 2018/8/1		9
A U D	2,150	0.78% due 2018/8/1		1,598
U S D	1,135	1.17% due 2018/8/1		1,135
		定期預金合計		4,211
		グランド・ケイマン合計 (簿価 \$4,211)		4,211
		シンガポール (0.3%)		
		定期預金 (0.3%)		
		DBS Bank Ltd.		
U S D	101,930	1.17% due 2018/8/1		101,930
		定期預金合計		101,930
		シンガポール合計 (簿価 \$101,930)		101,930
		米国 (3.9%)		
		定期預金 (3.9%)		
		JP Morgan Chase & Co.		
U S D	1,276,782	1.17% due 2018/8/1		1,276,782
		定期預金合計		1,276,782
		米国合計 (簿価 \$1,276,782)		1,276,782
		短期投資合計 (簿価 \$1,382,923)		1,382,923
		投資総額 (簿価 \$33,036,372)	101.6%	\$ 33,378,907
		現金および他の資産を超過する負債	(1.6)	(528,386)
		純資産	100.0%	\$ 32,850,521

投資明細表に記載の有価証券はすべて、その証券の所在地よりもカントリーリスクがどこにあるかについて経営陣が最善の評価を行い分類しています。

- (a) コーラブル債
- (b) 2018年7月31日現在の変動利付証券
- (c) 永久債
- (d) 144A証券 - 1933年証券法の規則144Aのもと登録が免除されている証券。同証券は、登録が免除されている取引によって転売できません。取引の買い手は通常は適格機関投資家。別段の記載がない限り、同証券は非流動資産とみなされません。
- (e) 運用会社の利害関係人

2018年7月31日現在、以下の先物取引について現金 \$80,462をブローカーが保有しています。

2018年7月31日現在の先物建玉（純資産の0.0%）

ポジション	銘柄	限月	契約枚数	純評価益 / (損)	
Short	Euro FX Currency Futures	2018年9月	(5)	\$	6,965
Short	Japan Yen Currency Futures	2018年9月	(1)		1,588
Long	S&P 500 E-Mini Futures	2018年9月	7		15,434
Short	U. S. Long Bond Futures	2018年9月	(2)		(3,250)
Long	U. S. Treasury 2-Year Note Futures	2018年9月	21		(4,068)
Long	U. S. Treasury 5-Year Note Futures	2018年9月	10		1,352
Short	U. S. Ultra Bond Futures	2018年9月	(7)		(16,649)
				\$	1,372

2018年7月31日現在のファンドレベルの外国為替先渡契約残高（純資産の-0.0%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	純評価益 / (損)
E U R	UBS AG	327,000	2018/8/6	U S D	383,081	\$ -	\$ (365)	\$ (365)
U S D	Goldman Sachs Group, Inc.	381,518	2018/8/6	E U R	327,000	-	(1,197)	(1,197)
U S D	UBS AG	383,938	2018/9/6	E U R	327,000	284	-	284
						\$ 284	\$ (1,562)	\$ (1,278)

2018年7月31日現在のブラジル・リアル・クラスの外国為替先渡契約残高（純資産の0.5%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	純評価益 / (損)
B R L	Citibank N. A.	32,325,142	2018/8/10	U S D	8,433,104	\$ 163,988	\$ -	\$ 163,988

2018年7月31日現在の通貨セレクト・クラスの外国為替先渡契約残高（純資産の0.0%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	純評価益 / (損)
C N Y	Citibank N. A.	5,132,803	2018/8/10	U S D	768,396	\$ -	\$ (16,519)	\$ (16,519)
I D R	Citibank N. A.	11,258,936,903	2018/8/10	U S D	781,659	-	(1,539)	(1,539)
I N R	Citibank N. A.	54,664,354	2018/8/10	U S D	791,705	4,572	-	4,572
M X N	Citibank N. A.	14,675,694	2018/8/10	U S D	770,954	14,548	-	14,548
T R Y	Citibank N. A.	4,362,520	2018/8/10	U S D	904,505	-	(18,989)	(18,989)
Z A R	Citibank N. A.	9,711,913	2018/8/10	U S D	721,706	18,885	-	18,885
						\$ 38,005	\$ (37,047)	\$ 958

2018年7月31日現在の円ヘッジ・クラスの外国為替先渡契約残高（純資産の-0.2%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価(損)	純評価益 / (損)
J P Y	Citibank N. A.	756,670,208	2018/8/10	U S D	6,815,545	\$ -	\$ (52,381)	\$ (52,381)

ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）

通貨の略称：

AUD	-	豪ドル
BRL	-	ブラジル・レアル
CNY	-	人民元
EUR	-	ユーロ
GBP	-	英ポンド
IDR	-	インドネシア・ルピア
INR	-	インド・ルピー
JPY	-	日本円
MXN	-	メキシコ・ペソ
NOK	-	ノルウェー・クローネ
TRY	-	トルコ・リラ
USD	-	米ドル
ZAR	-	南アフリカ・ランド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）が投資対象として
 いる「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっ
 ておりますので、当ファンドの決算日（2019年2月18日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザー
 ファンドの組入資産の内容等を28ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

2018年8月21日～2019年2月18日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2019年2月18日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第7期（決算日 2018年12月10日）

（作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

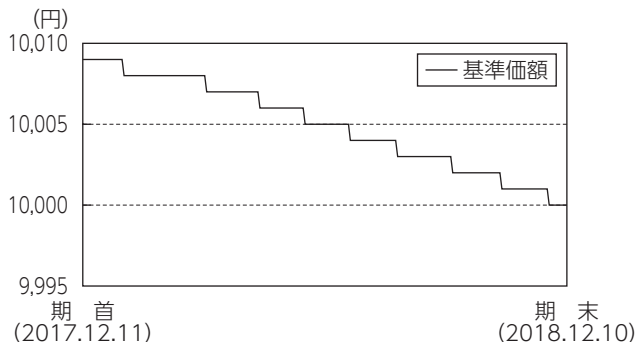
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2017年12月11日	円	%	%
12月11日	10,009	-	-
12月31日	10,009	0.0	-
2018年1月31日	10,008	△0.0	-
2月28日	10,008	△0.0	0.5
3月31日	10,007	△0.0	-
4月30日	10,006	△0.0	-
5月31日	10,005	△0.0	-
6月30日	10,005	△0.0	-
7月31日	10,004	△0.0	-
8月31日	10,003	△0.1	-
9月30日	10,002	△0.1	-
10月31日	10,001	△0.1	-
11月30日	10,000	△0.1	-
(期末)2018年12月10日	10,000	△0.1	-

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
- (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,009円 期末：10,000円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	4 (4)
合 計	4

- (注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
- (注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 180,001	千円 (180,000)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
- (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
- (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
723	国庫短期証券 2018/3/5		90,000
757	国庫短期証券 2018/8/13		50,000
731	国庫短期証券 2018/7/10		40,000

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
- (注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	9,019,491	100.0
投資信託財産総額	9,019,491	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	9,019,491,424円
コール・ローン等	9,019,491,424
(B) 負債	745,957
その他未払費用	745,957
(C) 純資産総額(A - B)	9,018,745,467
元本	9,018,625,641
次期繰越損益金	119,826
(D) 受益権総口数	9,018,625,641口
1万口当り基準価額(C/D)	10,000円

* 期首における元本額は17,399,953,390円、当作成期間中における追加設定元本額は2,846,717,287円、同解約元本額は11,228,045,036円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり) 999円、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジなし) 999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(毎月分配型) 219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(年2回決算型) 24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(毎月分配型) 848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(年2回決算型) 66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジあり) 6,592,748円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジなし) 10,288,683円、ダイワ/パリュール・パートナーズ・チャイナ・インベーター・ファンド10,000円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(年1回決算型) 4,995円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(年1回決算型) 4,995円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型) -スーパー・ハイインカム- α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型) -スーパー・ハイインカム- α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ14,873,813円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 3 - 858,588,190円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 6 - 2,475,152,803円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 7 - 828,595,357円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 4 - 1,078,808,907円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver 5 - 2,095,808,384円、ダイワ円債セレクト マネーコース1,605,380,447円、ダイワ・スイス高配当株ツインα(毎月分配型) 2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース1,490,665円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 日本円コース497,633円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース994,307円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 通貨セレクト・コース397,742円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型) 為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型) 為替ヘッジなし100,789円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(毎月分配型) 1,235円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(毎月分配型) 1,598円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 日本円コース(毎月分配型) 1,544円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファ

ンド 通貨セレクトコース(毎月分配型) 1,984円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,000円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 5,977,479円
受取利息	2,652
支払利息	△ 5,980,131
(B) その他費用	△ 4,966,849
(C) 当期損益金(A + B)	△ 10,944,328
(D) 前期繰越損益金	15,761,364
(E) 解約差損益金	△ 5,797,371
(F) 追加信託差損益金	1,100,161
(G) 合計(C + D + E + F)	119,826
次期繰越損益金(G)	119,826

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。